

Júbilo IWATA HOMETOWN REPORT

明治安田J2・J3百年構想リーグ
ホームタウン活動報告
(2026年2月1日～2026年6月30日)



はじめに

ジュビロ磐田は、皆さまに〈より親しまれ愛されるクラブ〉を目指し、静岡県西部地域の課題や地域振興に対して様々な活動に取り組んでいます。多くのステークホルダーの皆さまと連携しながら、サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいなどを通じて、より皆さまの身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。

【ジュビロ磐田のホームタウン活動方針】

①健康・スポーツの普及、振興

- ・誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくり

②地域課題への取り組み

- ・スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり
- ・郷土愛をはぐくみ地元を誇れる取り組み

③地域振興への取り組み

- ・活気ある静岡県西部地域の街づくり

ご挨拶



株式会社ジュビロ
代表取締役社長
大友 健寿

日頃からジュビロ磐田にご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
ごさいます。

静岡県西部地域のホームタウンを中心に、夢と感動を届けるべく取り組みを続けてまいりました。

シーズンを世界標準に揃え「夏」に開幕を迎えた2026/27明治安田Jリーグでは、開幕5試合満員プロジェクト「#みんなで行こうぜヤマハ」を実施しております。ホームタウンを中心に展開している装飾や招待企画を通じ、地域の皆さまにも新シーズン開幕の雰囲気やスタジアムでの観戦を楽しんでいただきたいと思います。

ホームゲーム以外の場でも、地域のイベントやサステナビリティ活動、また自治体・教育機関等との地域連携活動を通じて、皆さまに「より親しまれ愛されるクラブ」となるように努めてまいります。

今後も、ジュビロ磐田のホームタウン活動へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

ホームタウン紹介

サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいを通じて、より皆さまの身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。



ホームタウン出身選手

2026/27シーズン 明治安田J2リーグでの在籍



浜松市出身
DF 4 松原 后



浜松市出身
GK 16 牲川 歩見



浜松市出身
MF 17 西岡 健斗



浜松市出身
MF 33 川合 徳孟



浜松市出身
MF 42 石塚 蓮歩



磐田市出身
GK 51 中島 佳太郎



磐田市出身
MF 77 藤原 健介

未来の子どもたちが安全にスポーツができる環境を残すため、
サステナビリティ活動に取り組んでいます

サステナビリティポリシー



サステナビリティロードマップ



ジュビロ磐田公式サイトに【サステナビリティ】
紹介ページができました！



Jリーグ 気候アクション

Jリーグは、未来の子どもたちが安全にスポーツを楽しむことのできる地球環境を目指し、気候変動の問題解決のためのアクション(以下、気候アクション)を推進しています。

教育

Jリーグ気候アクションアンバサダー

「Jリーグ環境教育授業」の先生役や、Jリーグや各クラブが取り組む気候アクション、環境問題にかかわる取り組みのアイコン役となって活動します。

アンバサダーに任命された山田大記CROが、掛川市立西山口小学校・磐田市立竜洋西小学校・浜松市立金指小学校で環境授業を実施。授業では、6月に発行した「ジュビロサステナBOOK」を活用しました。



SPL(Sport Positive Leagues)への参画

Jリーグは、スポーツを通じた環境サステナビリティの取り組みを数値化し、その進捗や目指すべき方向性をわかりやすく把握できる仕組みとして、アジアで初めて国際的なイニシアチブ「SPL」への参画を決定しました。



©Sport Positive



SPLとは

参画リーグの所属クラブを対象に、気候変動対策にとって重要な12項目の取り組み状況について、スポーツ界特有の環境パフォーマンスの多岐にわたる活動の効果をデータとして収集します。SPL独自のスコアリングシステムで定量的に効果分析が行われ、エネルギー、廃棄物、交通など、カテゴリーテーマ別に加重を設けて総合点を算出。スポーツファンに馴染みのある順位表形式でSPLからリーグごとにスコアが出され、参画するクラブが横断的に紹介されます。データ駆動型のアプローチにより、環境への取り組みが可視化され、スコアを公表することで最善策の共有を促進し、より高い目標を追求する動機付けが仕組みとして備えられている点が特徴です。

指標カテゴリー



ポリシーと
コミットメント、
レポート



再生可能エネルギー



エネルギー効率



環境負荷の
少ない移動手段



使い捨てプラスチック
削減・廃止



ごみの削減管理



水の効率的な利用



プラントベース食品



生物多様性



教育



コミュニケーションと
エンゲージメント



持続可能な調達

再生可能エネルギー

ヤマハスタジアムの電気

ヤマハスタジアムでは、スマートエナジー磐田(株)の「いたたゼロエミでんき」を使用しています。磐田市近郊の地産電源と、J-クレジットなどの再エネ由来の証書を組み合わせ、CO₂排出係数ゼロの電力を、磐田市を中心とする需要家に提供するプランです。

エネルギー効率

ヤマハスタジアムのガス

サーラグループと連携のもとカーボンオフセット都市ガスを導入しています。ヤマハスタジアムで使用される都市ガス年間約17,000m³の温室効果ガスの排出は実質的にゼロとみなされ、年間約46tのCO₂削減を見込んでいます。



具体的な取り組み

環境負荷の少ない移動手段

ジュビロ・グリーンアクセス・チャレンジ

「ファン・サポーターの移動を環境にやさしい選択へ」をテーマとし、公共交通機関の利用や自転車・徒歩、乗り合わせなど、移動に伴う環境負荷の低減を促進するために実施。SNSで来場の様子を投稿いただきました。

環境負荷の少ない移動手段

電気自動車「Audi Q8 e-tron」オフィシャルカーの展示

サーラグループとの連携で進める、「地域の暮らしの課題解決」および「GX(グリーントランスフォーメーション)推進」に向けた新たな協働プロジェクトの一環として、アウディのフラッグシップSUVである電気自動車(EV)『Audi Q8 e-tron』2台をチームオフィシャルカーとしてご提供いただきました。オリジナルラッピングが施された車両は、藤枝戦サーラグループマッチ〜サステナビリティデー〜にて、皆さまにお披露目しました。



使い捨てプラスチック削減・廃止／ごみの削減管理

ジュビロリサイクルカップ

ヤマハスタジアムで開催するホームゲームのアルコールドリンク販売用カップとして、生分解性樹脂BioPBS™を使った紙コップを導入。使用済みの紙コップは袋井市内で牛糞と一緒に堆肥化されます。その堆肥は、地域課題でもある「空きハウス」を活用した食用花の栽培に使われました。さらに、収穫された食用花はスタジアムグルメに使用。紙コップを起点とした循環型システムを構築しています。



使い捨てプラスチック削減・廃止

廃プラタイヤ&エンジンでつくる あなただけのバイク

ヤマハ発動機(株)の工場の製造工程で出るプラスチックごみを再活用したミニタイヤ・エンジンでオリジナルバイクを作るイベントを実施しました。



使い捨てプラスチック削減・廃止

サーラ・ジュビロオリジナルクリアファイル(サトウキビ素材)配布

藤枝戦サーラグループマッチ〜サステナビリティデー〜では、環境に配慮したサトウキビ素材で作成したクリアファイルの特設ブースで配布しました。

01 サステナビリティ

ごみの削減管理

サーラ×ジュビロ ロス材100%リサイクルゴミ袋

サーラグループと協働で、再生材を30%使用したリサイクルゴミ袋16,000枚を磐田市・浜松市・湖西市に寄贈しました。5年目を迎えるこの活動は、地域の清掃活動やスタジアム清掃に活用しています。さらに、ペットボトルキャップの再利用により、約250kgのCO₂排出削減に貢献しています。

ごみの削減管理

使用済みてんぷら油回収イベント

サーラグループが進める地球温暖化防止と資源循環型社会の構築に貢献するための活動の一環で実施。ご家庭で不要となった使用済みてんぷら油を回収し、環境に優しい「バイオディーゼル燃料(BDF)」としてリサイクルします。約50組の方にご協力いただき、約40.5ℓを回収することができました。これによりスギの木約5.5本が1年間に吸収するCO₂量、約77.3kgのCO₂削減につながる見込みです。



具体的な取り組み

ごみの削減管理

おもちゃでみんな笑顔になろう!プロジェクト

(株)エド・インターの「おもちゃでみんな笑顔になろう!プロジェクト」に賛同し、共同で菊川市立総合病院へおもちゃを寄付しました。このプロジェクトは、(株)エド・インターの『GENI』のおもちゃの中で、安全面や機能面では問題が無いものの、小さな傷・少しの塗装ミスが出てしまったものを贈ります。おもちゃによって子どもの成長を育み、さらに産業廃棄物を削減することでCO₂の削減につなげることを目的としています。



ごみの削減管理

リサイクルクリーンecoステーション

(株)リサイクルクリーン協力のもと、ヤマハスタジアムで開催されるリーグ戦でアルミ缶とペットボトルの回収活動を展開。回収した資源を換金して苗木に変え、浜松市天竜区の植林を行っています。

水の効率的な利用

『ヤマハクリーンウォーターシステム紹介』 ～水から生まれる地域との絆～

ヤマハ発動機(株)とジュビロ磐田が連携し、スポーツ用品の回収活動を実施。寄付をしていただいたウェアやシューズは、ヤマハ発動機(株)が主に新興国の村落へ導入している浄水装置「ヤマハクリーンウォーターシステム」の設置・メンテナンスに合わせて、現地の子どもたちや住民の方々へ直接届けられます。ブースでは、スポーツウェアの回収とともに、ヤマハ発動機(株)が取り組むクリーンウォーターシステムに関する紹介パネルの展示を行いました。



プラントベース食品

地産地消キッチンカーの出店

サーラホテル&レストランズ(株)が運営する「四川飯店」が静岡と東三河の豊かな食材を使用した当日限定メニューを販売しました。ジュビロ磐田では、スタジアムグルメ全店舗で地産地消グルメの提供に取り組んでいます。



01 サステナビリティ

生物多様性

ウェルカメクリーン大作戦

浜松市の天然記念物である「アカウミガメ」が安全に産卵できる砂浜を確保することを目的に、毎年実施されています。この日は、サーラグループとジュビロ磐田が協働で製作した「リサイクルごみ袋」の贈呈式も行われ、地元企業や自治会の方など、多くの参加者と一緒に、遠州灘海岸沿いの清掃活動を行いました。



生物多様性

「久留女木の棚田」田植え体験

ジュビロ磐田U-13の選手が浜松市浜名区で田植え体験を行いました。普段食べるお米を作るには多くの人が関わっていることを実際に経験し、より深く「感謝」の気持ちを持つことを目的に実施しました。



具体的な取り組み

生物多様性

ごみ拾い

ジュビロ磐田U-15の選手が地域貢献活動の一環として、ジュビロ上大之郷グラウンド周辺のごみ拾いをしました。



教育

ジュビロサステナBOOK

地域の未来を担う子どもたちが、気候変動をはじめとするサステナビリティ(持続可能な社会づくり)について学び、自ら考え行動する力を養うための教材として『ジュビロサステナBOOK』を制作し、ホームタウン7市1町の小学校(173校・約11,300名)へ配布いたしました。

本冊子の制作には、静岡県地球温暖化防止活動推進センター、パートナー企業の(株)静岡銀行、大興金属(株)、須山建設(株)にご協力いただきました。



教育

サステナビリティ研修

ジュビロ磐田U-18の選手を対象に、山田大記CROがサステナビリティ研修を実施しました。Jリーグやクラブの取り組み、SPLへの参画などを説明し、選手たちの理解促進と意識向上を目指しました。最後に、「知る・実践する」ことの大切さを伝えました。



持続可能な調達

ジュビロショップ ショッパー

ジュビロショップ磐田・ジュビロショップサーラプラザ浜松で使用しているショッパーの原材料には再生原料50%を含んでいます。さらにポリエチレン製のため、焼却しても塩素等の有害ガスは発生しません。厚さ50μm以上で繰り返し使用が可能です。

コミュニケーションとエンゲージメント

ジュビロサステナブース

明治安田J2・J3百年構想リーグでは、ホームゲームで「ジュビロサステナブース」を出展しました。

- ①くぶのくにCOOLチャレンジ
『温暖化対策アプリ・クルポ』
ダウンロードキャンペーン
- ②磐田市サステナビリティ
啓発ブース



地域のサッカー普及・文化の醸成、地域に暮らす皆さまの健康促進を通じて豊かな地域づくりを目指します

サッカー普及

サッカー巡回教室

御前崎市、菊川市、掛川市、袋井市、浜松市の年長園児を対象に、サッカー体験教室を開催しました。



2026年2月～6月 サッカー巡回教室参加人数

御前崎市:3園	62人
菊川市:2園	31人
掛川市:5園	135人
袋井市:10園	192人
浜松市:13園	411人
合計:33園	831人



磐田市サッカー体験教室

磐田市内の幼稚園・保育園・こども園を対象にサッカー体験教室を開催。人工芝が敷かれたヤマハ加茂グラウンド・ジュビロ上大之郷グラウンドを会場に、ボールと触れあいました。



2026年2月～6月 磐田市サッカー 体験教室参加人数

17園……………452人

ジュビロSSクラブ

部活動が縮小傾向にある中学生を対象に、自分のタイミングで気軽に参加できる新しいサッカーの場として開講。4月～6月は月3回ずつ、ヤマハ加茂グラウンドで開催しました。

ジュビロU-12国際サッカー大会2026

青少年育成・競技力向上・地域貢献を目的に主催。2026年は海外2チーム、静岡県外7チーム、静岡県内3チームの合計12チームが参加しました。

優勝:アサンプション・ユナイテッド(タイ)
準優勝:東京都U-12選抜
3位:ヴィッセル神戸U-12



NTN NATIONAL TRADING COMPANY OF JAPAN	YAMAHA 100年のワクワクと発展を。 アサヒ飲料
J-PLACA	共和レザー株式会社 KYUJIN
Admiral	飛鳥建設 飛鳥建設株式会社
石川建設	GREEN WORKS
つま恋 リゾート 影の郷	日産銀行
望月商事	山本株式会社
ヤマハモーターソリューション	ヤマハモーターソリューション
株式会社国際モーターズ 有限会社作良 ハローワークニッポン支店 ヤマハ自動車部品(パートナ)株式会社 株式会社ワイズア	大和倉庫株式会社 中野電力パワーグリッド株式会社静岡営業所 株式会社東海工業 有限会社東海工業 株式会社ワイズア

サッカー普及

サッカー大会の開催・協力 (一部抜粋)

サーラカップ2026 予選

静岡県・愛知県・岐阜県・神奈川県での予選を勝ち上がった16チームは、ヤマハスタジアムでのトーナメント戦に出場することができます。過去のサーラカップ出場選手からは、現在プロの選手も輩出しています。



ジュビロ磐田 シニアサッカーフェスティバル

サッカー教室の開催(一部抜粋)

サーラキッズ

栄養セミナーやフィジカルコンディショニング講座、サッカー教室など総合的な育成プログラムを通じてサッカーの普及に努めています。



小学校体育サポート



北遠地域(浜松市)サッカー教室



放課後サッカー教室

女子サッカー

静岡SSUボニータとの パートナーシップ

女子サッカーを通じた地域サッカー振興を目指し、静岡SSUボニータ((一社)静岡スポーツユナイテッド)とパートナーシップ契約を結んでいます。



静岡SSUボニータ キックオフカンファレンス2026

2026プレナスなでしこリーグ1部の開幕に先立ち、キックオフカンファレンスが開催されました。静岡SSUボニータ 本田美登里監督・磐田市 草地博昭市長・山田大記CROが「女子サッカーの現状」や「ジュビロとボニータの関係性」を語るトークショーも行われました。



ジュビロなでしこ サッカー広場2026

ジュビロ磐田とJリーグが主催し、静岡SSUボニータの協力のもと、小学生の女の子を対象としたサッカー教室を開催しました。

ジュビロ磐田単独でも、小学1～6年生を対象として女子サッカー教室を開催。12名が参加し、2グループに分かれてサッカーを楽しみました。



02 地域スポーツ普及

知的障がい者サッカークラス ジュビロ磐田ルナソルジャス

主に特別支援学校へ通う高校生を対象とした「ジュビロチャレンジドカップ」を卒業するサッカー部の生徒たちに、「高校卒業後も仲間たちとのサッカーを楽しんでもらいたい」という想いから2023年4月に開講。

ユニフォームパートナー：(株)ジェイ・プラッカ、H.K.K.(株)&D.K.K(株)

参加した大会・イベント

第23回IBISサッカーフェスティバル



やさしいサッカー体験会



しずぎんpresents IDサッカーパラスポカップ

西部地区卒業記念カップ

令和7年度日韓知的障害者サッカーフェスティバル

第24回静岡チャレンジドサッカーフェスティバル 兼 第16回日韓知的障害者サッカーフェスティバル選手選考会



第1回ジュビロ磐田IDカップ

知的障がいがある方がサッカーを通じて楽しく体を動かして仲間と共に日頃の練習の成果を発揮し、サッカーファミリーとしてクラブ間の交流を深めることを目的に、Jリーグとジュビロ磐田が開催しました。

後援：浜松市、公財浜松市スポーツ協会、一財静岡県サッカー協会、
NPO法人静岡 FIDサッカー連盟
協賛：静岡園製茶(株)、学校法人 十全青翔学園 静岡医療科学専門学校
(株)東海むらせ、アサヒ飲料(株)、磐田ボッカ食品(株)、ローランド ディー・ジー (株)
協力：静岡県立浜松工業高校サッカー部、一社アレスグート



やさしいサッカー体験会 (インクルーシブ)



ウォーキング フットボール体験会



親子ウォーキングフットボール

様々な地域スポーツの推進

ジュビロジュニアチアリーダーズ「Jubies」

ジュビロ磐田の応援を通して、スポーツ文化の活性化に貢献します。”CHEER”という言葉が持つ「人を応援する、元気づける」という意味のもと、チアダンスで人々に「夢と感動を」与える表現スポーツの楽しさ、チームワークの大切さを学ぶことを目的としています。



Jubiesパフォーマンス披露

地域イベントでパフォーマンス披露を行っています。

ジュビロヨガクラブ

18歳以上の方を対象に「続けることでカラダが変わる」ヨガ教室を開催しています。



第20回ジュビロ磐田陸上大会

第50回ジュビロ磐田杯争奪市民相撲大会

ホームタウンの皆さまにとって身近な存在になれるよう、スタジアム内外での活動に取り組んでいます

地元への誇りと愛着の醸成

磐田デー with ヤマハ発動機 磐田市小学生一斉観戦

磐田市が目指す、「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活に溶け込み、人々が心身の健康と生活の楽しみを享受することができるまち」の取り組みのひとつとして、市内全20校の小学5・6年生約2,800人を招待しています。この取り組みは15回目を迎えました。



ジュビロ磐田応援メニュー

一斉観戦に合わせて磐田市内の小中学校で「応援給食」が提供されました。必勝を意味するヒレカツやサックスブルーをイメージしたフルーツカクテルなど、食を通じて応援の機運を高めていただきました。



磐田市内小学校訪問

一斉観戦終了後、選手が磐田市内の小学校を訪問して応援へのお礼を伝えました。大正製薬(株)ご協力のもと、「リポビタンアイススラリー Sports」を贈呈しました。



パブリックビューイング

パブリックビューイング in 浜松まちなか

浜松まちなかの新川モールで、パブリックビューイングを開催。スタジアムグルメ出店店舗の販売など、ホームゲームさながらの雰囲気アウェイゲームの応援をしました。

ゆったりパブリックビューイング

磐田市パブリックビューイング

アウェイ長野戦 in 袋井

さわやかアリーナ袋井市総合体育館で、袋井市民や市外から約70名が集まるパブリックビューイングを開催。会場ではジュビロ磐田グッズ販売も行いました。



まちづくり

ジュビロ飯運動教室

子育てセンターとみがおか(磐田市)にて提供されるジュビロ飯を食べる前、年長園児と磐田市イメージキャラクター しっぺい・ジュビロくん・ジュビィちゃんが一緒に運動しました。ボールを使ってたくさん動いた後は、磐田市産食材をふんだんに使い、栄養バランスが整った食事を楽しみました。



磐田市健幸プロジェクト「ジュビロ飯」とは

磐田市産の食材を使用した栄養バランスのとれたメニューと運動を合わせて楽しみ、健康で幸せな生活を目指す取り組みです。

～メニュー～

①市内特産品(野菜)を主としたメニューであること

例:メニュー名に特産品を記載する。

「磐田産〇〇を使った～」

メニュー等にて特産品が記載されている。

②以下のうち1つ以上を満たしていること

- ・タンパク質食品(肉・魚・卵・大豆)を60g～150g使用する
- ・ビタミンDを含む食材を1品以上使用する
(例:魚類やきのこなど)
- ・野菜(きのこ・海藻・いも類を含む)を120g以上使用する

～情報提供～

- ③市の健康施策に協力すること
- ④特産品情報の周知に協力すること

ご当地ジュビロくん

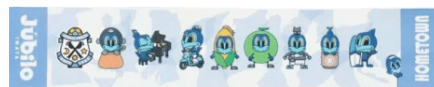
2023年5月にホームタウンが磐田市から静岡県西部地域7市1町へ拡大したことをきっかけに、ホームタウン各市町の特徴や特産品を反映した『ご当地ジュビロくん』が完成しました。

自治体職員ポロシャツ

日常から「このまちの誇り」を感じられる機会を創出し、地域の一体感を高めるとともに、地域全体の盛り上がりへの貢献、クラブのさらなる認知度向上を目的として、ホームタウンコラボポロシャツを製作。2025年8月より、職員有志の皆様にご着用いただいております。



タオルマフラー販売



ご当地ジュビロくんだらけガチャ販売



地産地消応援プロジェクト

地産地消のシンボルとなるロゴマークを作成し、地元素材や特産品を使用するモノの認知向上・利用拡大を目指しています。



NTN(株)磐田製作所北側バナー

JR御厨駅からヤマハスタジアムまでにあるNTN(株)磐田製作所北側に装飾を設置。ヤマハスタジアムでの試合開催日には、ぜひJリーグ参入からこれまでの歴史を振り返りながらお越しください。



入学おめでとうキャンペーン

磐田市の新入生に交通安全バッグを贈呈しています。磐田市イメージキャラクター しっぺいとジュビロくん・ジュビィちゃんが新設された磐田市立向陽小学校の入学式に参加しました。



まちづくり

磐田消防PR

岐阜戦～磐田デー with ヤマハ発動機～では、磐田消防本部ブースを出展いただき、ホースの廃材を使ったコースターの色塗り体験をしました。試合前やハーフタイムには、磐田消防の職員がピッチ散水も行いました。



愛野メモリアルロード花壇植替

JR愛野駅南口からエコパスタジアムへ通じる愛野メモリアルロード。「2002 FIFAワールドカップ 日本／韓国」開催以来、毎年行われている半円花壇の植え替えに、ジュビロ磐田として初めて参加しました。



明治安田×ジュビロ フードドライブ

明治安田マッチの「明治安田J活ブース」でフードドライブを実施。集まった食品の一部は、NPO法人ReFrameに寄付されました。

ReFrame×ジュビロ
フード&ライフドライブブース

ホームゲーム等のイベント会場で実施したフード&ライフドライブや企業協賛していただいた食べ物を、子ども食堂や支援団体へ届ける活動をしています。



認定NPO法人ReFrameとは

2022年9月、小川大貴代表（ジュビロ磐田強化担当兼スカウト）・山田大記副代表（ジュビロ磐田CRO）が、それぞれ個人で行ってきた子どもたちへの支援活動を本格化するため、一般社団法人ReFrameを設立。さらなる活動拡大のため、2024年7月にNPO法人ReFrameを立ち上げました。

ReFrameは、子どもたちや子育て家庭が安心して過ごせる地域づくりを目指し、子どもの居場所づくりや食支援、体験機会の提供、地域交流などに取り組んでいます。活動の原点である児童養護施設・小児病棟への訪問も継続しています。

2026年には浜松市中央区富塚町に、子ども食堂を中心とした地域拠点「ReFrame BASE」を開設。定期的な子ども食堂の開催をはじめ、子どもたちが安心して過ごし、人や地域とつながることのできる「心の居場所」を目指して活動しています。さらに、地域全体で子どもたちを支える仕組みとして「浜松子ども基金」を設立。企業・市民・支援団体など多様な地域の仲間と連携しながら、子どもの居場所や体験機会を支える活動への助成など、支援の輪を地域全体へ広げています。

ReFrameは、目の前の一人ひとりの子どもに寄り添う活動と、地域全体で子どもたちを支える仕組みづくりの両面から、すべての子どもたちが未来に希望を持てる地域社会を目指して活動しています。

磐田消防アンバサダー

ジュビロ磐田として2025年に就任。磐田消防の意識啓発事業を通じて、磐田消防の向上と市民が「安心・安全」に暮らすことのできるまちの実現を目指します。静岡ブルーレヴズ（ラグビー）、静岡SSUボニータ（サッカー）と一緒に委嘱式に出席しました。



湖西市ふるさと大使

2025年にジュビロ磐田が就任しました。湖西市の魅力や地域資源などを国内外に向け広く発信し、市の知名度を高め、イメージ向上を図ります。



学校教育関連

スタジアム見学

主に小中学生を対象に、ヤマハスタジアム見学の受け入れを行っています。ピッチ四方を囲むスタンドだけでなく、選手のロッカールームや試合運営に欠かせない運営本部など、裏側までご案内しています。



ジュビロキッズ

2か月に一度、ホームタウンすべての公立小学校にミニ新聞を配布。表紙特集「君の心にエール」では、選手から夢に向かって頑張る子どもたちに向けたメッセージを、中面では静岡ブルーレヴズとジュビロ磐田の選手たちのインタビューを掲載しています。

今年は、静岡県立大学茶額総合研究センター、公社静岡県茶業会議所、ふじのくに茶の都ミュージアム、ハヤテベンチャーズ静岡にも特集記事の協力をいただきました。



スタッフ学校訪問講演事業

小中学校を中心にクラブスタッフが訪問し、サッカーに携わる仕事の内容や夢について、子どもたちの進路選択のヒントとなるよう講演を行っています。



袋井市ジュビロ応援給食

袋井市内の小学校で「ジュビロ応援給食」が提供されました。代表して、袋井市立袋井南小学校に山田大記CROとクラブスタッフが訪問。給食を食べる前には、6年生93名を対象とした「夢語り」の授業を行いました。応援給食は、トップチームの選手たちが Jubilo Clubhouse・Athlete Centerで食べているキーマカレーを学校給食用にアレンジしたメニューです。



職場インタビュー

平日のヤマハスタジアムに中高生が来場。ジュビロ磐田の仕事や働きがいなどをクラブスタッフにインタビューしたり、スタジアム内外で興味関心を抱く事柄を探究しました。



卒業メッセージ

磐田市内の小学校を卒業する児童へお祝いの気持ちと、一斉観戦をはじめとした応援の感謝を込めて、全小学校へお祝いのメッセージをお届けしました。

スポーツを通じた交流

One Shizuoka Project

“スポーツの力で静岡をひとつに”を合言葉に県内のスポーツクラブの選手会が合同でプロジェクトを立ち上げ活動をしています。



■ 静岡県立こども病院訪問

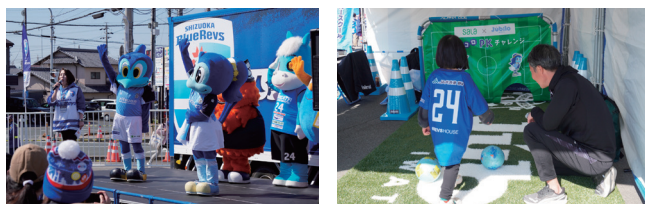
3か月に一度、病院を訪問して入院中の子どもたちと交流しています。

■ いろスポ大運動会

6月14日に浜松アリーナで開催。集まった小学4～6年生と県内スポーツチーム選手がラグビーとサッカーの体験を行いました。

静岡ブルーレヴズホームゲーム
「しずおかスポーツチャレンジ!」

静岡ブルーレヴズ(ラグビー)のホームゲームでPKチャレンジブースを出展。ジュビロくん・ジュビィちゃんも登場し、来場者とふれあいました。



御蹴印ブース

磐田市との共創による市内周遊事業として「御蹴印」を配布しました。ヤマハスタジアムで配布した御蹴印にはご当地ジュビロくんが、磐田市竜洋昆虫自然観察公園「こんちゅう館」で配布された御蹴印には磐田市イメージキャラクター しっぺいがデザインされています。



ハヤテベンチャーズ静岡始球式

ハヤテベンチャーズ静岡(野球)の浜松球場開催試合で、浜松市出身・ジュビィちゃんが始球式に参加。初めての始球式に緊張しつつも、マウンドに立つと堂々とした振る舞いで投げることができました。



磐田市ブース

野菜摂取量を測れるベジチェックや、緑の募金、スマートインターチェンジのPRを行いました。



菊川市ブース

ホームゲームでPRブースを出店。菊川市の特産品紹介をはじめ、名物のくずシャリシャリを販売しました。



ホームタウン招待

いわき戦では、ホームタウン市民を対象に無料観戦招待企画を実施。当日はこの日のイベントに関連した「平成レトロキャップ」を来場者特典として配布し、ヤマハスタジアムのスタンドをサックスブルーで埋めました。

地域イベントへの参加

磐田市

府八幡宮節分祭



豆まき・鬼たいじ



BLUE STATION MIKURIYA 2026



木下サーカス×ジュビロ磐田「ジュビロデイ」



磐田市に「木下サーカス」がやってきました。4月26日(日)には、「ジュビロデイ」として会場全体がジュビロ磐田一色になりました。当日は山田CROが空中ブランコ、ジュビロくんがイリュージョンに挑戦。Jubiesもパフォーマンスに参加しました。

いわたホームタウンスポーツフェスティバル



IWATA合同入社式

磐田市役所展示
「磐田市内小学校一斉観戦」

浜松市

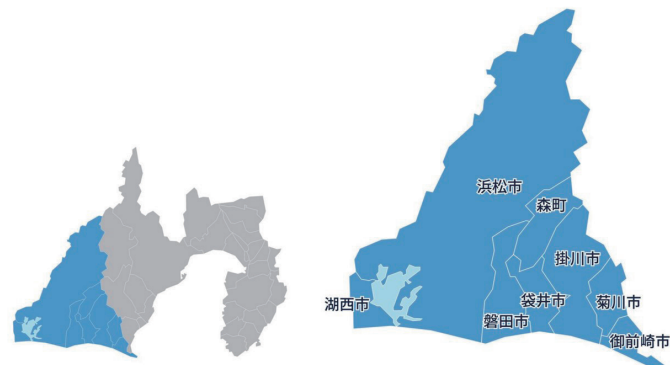
第22回浜松シティマラソン



NEOPASA浜松 あそびフェス2026



第14回いきいき健康フェスタ

SBSマイホームセンター浜松展示場
ジュビロ磐田応援デー

※順不同 2026年8月31日時点

オフィシャルパートナー



ヤマハ発動機(株)／サラグループ／(株)静岡新聞社・静岡放送(株)／(株)クラベ／スタンレー電気(株)／浜松ホトニクス(株)

オフィシャルサプライヤー



Admiral

ユニフォームパートナー

ヤマハ発動機(株)／サラグループ／(株)クラベ／スタンレー電気(株)／浜松ホトニクス(株)／サクラ工業(株)

ゴールドメンバー

遠州鉄道(株)
浜松ホトニクス(株)

(株)コーシンサービス
三井住友海上火災保険(株)

(株)静岡銀行
びあ(株)

(株)静岡新聞社
ヤマハ(株)

静岡放送(株)
ヤマハ発動機(株)

シルバーメンバー

石川建設(株)
(株)大塚
シダックスコントラクトフードサービス(株)
浜名梱包輸送(株)

(有)伊藤鋳金工業所
(株)サンライズジャパンホールディングス
大興金属(株)
(株)Bee

(株)英和エネルギー
JAバンク静岡
大和証券(株)

(株)SBSプロモーション
(株)静岡第一テレビ
野村證券(株)



株式会社ジュビロ

〒438-0025 静岡県磐田市新貝2500

<https://www.jubilo-iwata.co.jp>